

丹沢 セドノ沢右俣

煤孫

【日時】 2010年11月6(土)

【メンバー】 L煤孫、小川

今シーズン中にハーケンを打ちながらリードする練習をしたかった。小川君が付き合ってくれたので、丹沢でトレーニングすることにした。

朝、家を出る時は寒かった。沢を計画したことを後悔した。しかし天気は良かったのでだんだん気温が上がり、昼頃は快適になった。

源次郎の沢出合で沢靴に履き替えて入渓。堰堤を乗り越してすぐに水無川本谷F1があった。頑張れば右壁を登れるかもしれないが、シャワーを浴びるので早々と諦めて鎖浴いにまくことにした。

F1を越えるとすぐにセドノ沢の出合があった。「セドノ沢出合」と看板があったが、これだけ顕著な沢は見逃さないでしょう。

セドノ沢右俣の大滝は、高度はあるがそれほど難しくない。それより手前のセドノ沢F3、セドノ沢F4の方が難しい。全部の滝を煤孫がリードする予定だったが、このセドノ沢F3、F4が登れなくて小川君にリードしてもらった。まだまだ登攀力が足りない。

セドノ沢F5 3段15mでハーケンを打ちながらリードの練習をした。ハーケンを打つ場所を見つけるのに時間がかかってしまった。この滝だけで30分もかけてしまった。

F6大滝は煤孫がリードした。下段は左から登った。上段は左から傾斜の緩いところを選んで登った。ハーケンはいたるところに打っており、ほぼフリークライミングの間隔で支点が取れた。終了点には立派な支点が作られていた。



大滝を登って休憩。上のほうは紅葉もきれいでハイキング気分だ。本流を忠実に詰めていくと、藪漕ぎなしで登山道に出た。

目的のハーケン打ちの練習もできて、良いわらじ納めとなった

【グレード】 セドノ沢右俣 1級

【行程】 源次郎沢出合(10:05)～

水無川本谷F1 (10:30)～稜線(14:30)～

林道(15:40)～大倉バス停(16:45)

【地図】 大山

写真:F6 大滝